

## 第2章 マレーシアの教育制度

### 第1節 初等・中等教育

マレーシアの教育システムでは日本の高等学校に相当する教育が終了する迄の期間は小学校6年、下級中等学校3年、上級中等学校2年の計11年である。高等教育も含めたマレーシアの教育制度を表2-1-1に示す。

#### 1 初等教育

マレーシアの小学校は六年制（スタンダード1からスタンダード6まで）で、国民小学校(SRK)、国民型小学校(SRJK)に大別される。SRKはマレー語による教育が行われ、SRJKでは中国語やタミル語を教育言語としている。中国語を教育言語とする小学校はSRJK(C)、タミル語を教育言語とする小学校はSRJK(T)と呼ばれる。このように民族ごとに母語を尊重した教育行政を進めてきたが、この三つのタイプの学校を同じ敷地内に作り、設備の共有を通じて生徒間の相互交流・相互理解を深めさせようという狙いで「ビジョン・スクール」の設置も始めた。

新学期は1月から始まり12月で終了する。これは中等教育も同じである。大学だけが6月が新学年開始となっている。最終学年時の9月には、全国統一の学力到達度試験UPSRが実施される。その内容はSRJK(C)の場合①マレー語(2科目)②中国語(2科目)③英語④数学⑤理科の計7科目である。試験結果の評価はA～Eの5段階となっており、A～Cは合格、D、Eは不合格である。マレー人はUPSRの試験結果に関係なく中等教育機関に進学できる。しかし、華人/インド人の場合はUPSRのマレー語2科目をC以上取れない時は1年間のマレー語教育の後、下級中等学校に進級する事になる。華人は半数が合格し半数は不合格である。華人の内、2%<sup>1</sup>位は全国に約60校ある私立中等学校に進学する。

国立の小学校(SRK、SRJK(C)、SRJK(T))での必要な学費<sup>2</sup>を述べてみる。まず、授業料は無料である。但し、毎年の新学期にはRM50(1,500円)位の雑費の支払いが必要となる。

教科書代は収入により無償か有償かが決まる。一家族の月次収入がRM1000(3万円)以下の場合、無償で借りる事が出来る。都会の在住者は50%位、地方在住者は90%位が無償

---

<sup>1</sup> 華語国民型小学校は、1995年現在全国に6,965校あり、生徒総数2,802,677人となっている。1990年の時点での華校教師会総会の概算によれば、この規模は華人の子弟の約9割が、小学校入学の際に華語型国民小学校を選択している事を示している。他方、華文独立中学については、1960年代の存続問題の後、1970年代に入って全国規模で展開された復興活動により、全国60校の生徒は漸次増加した。1970年代に15,890人であった華文独立中学の生徒数は、復興運動が本格化して10年後の1985年には48,995人に1989年には52,155人と増加し、1995年には58,948人となっている。杉村 美紀『マレーシアの教育政策とマイノリティー』135ページを参照

1995年の華語型国民小学校から華文独立中学への華人の進学率は2.10%である。

<sup>2</sup> Ms.Kek から聞き取り調査。2005年2月1日

貸与の実態である。地方在住の方が都市に比べて無償の率が多いのは都会と地方の収入の差に依存している。有償の場合でも教科書は貰えない。

給食制度は無く、殆どの生徒は学校の食堂で昼食を取っている。親がRM 1 (30 円)位を毎日持たせる。麺類を取った場合は大体 50 セント程度で済ますことが出来る。弁当持参のケースは少ない。

以上の様にマレーシアでは初等教育の費用の大半は政府が負担し、父兄はほぼ無料で子供に教育を受けさせる事が出来る。

## 2 中等教育 (1)

日本と違い、マレーシアでは中学校と高校に分かれておらず、小学校卒業後の 5 年間 (フォーム 1 からフォーム 5 まで) は中等学校に通う。フォーム 1 からフォーム 3 までを下級中等学校 (SMR) と呼び、フォーム 4 からフォーム 5 までを上級中等学校 (SMT) と呼ぶが、SMR と SMT は一校にまとめられているのがほとんどである。SMR 最終学年に実施される全国統一試験 PMR は本来、一定の成績で合格しないと SMT に進学できないとされていたものを改めたもの。成績基準を満たさない生徒でも基本的にフォーム 4 までは進学でき、その上で再試験を受験することになった。

SMT は普通科 (文系・理系) 職業科、工業科の三種類に分かれている。最終学年に実施される全国統一試験 SPM は、一定の成績以上でなければ上級学校に進学できない。試験は 11 月に行われ結果の発表は翌年の 2 月である。

さらに、教育言語を中国語や英語とする私立の中等教育機関も認められている。中華系私立学校の場合、全国に 60 校あり、約 6 万人が学んでいる。教育期間が六年間 (前期三年と後期三年) となっていて、中等教育終了時には独自の統一試験 UE (Unified Examination) が行なわれる。これに合格すれば、台湾やシンガポール、オーストラリア、イギリス、カナダ、アメリカなど多くの大学での入学申請資格が可能となる。

## 3 中等教育 (2)

SMT 終了後、マレーシアの国内の大学に進学を希望する場合は大学予科教育を二年間 (ロウアー・フォーム 6 とアッパー・フォーム 6) 受けねばならない。アッパー・フォーム 6 終了時に行われる全国統一試験 STPM で一定以上の成績とると、始めて大学進学が可能になる。

一方、SPM 受験生で成績優秀なマレー系生徒には大学予備教育課程 (マトキュレーション・コース) が設けられている。このコースは一年間で終了時には STPM を受験せずに直接大学に入学が認められる制度である。

そのような学生は正規の大学教育を受ける前に、大学内に設置された PAS (Pusat Asasi Sains : 基礎科学センター) と呼ばれる予備教育部で数学、物理、化学の自然科学系基礎科目の教科教育を 1 年間受講する。通常の大学予科教育の 2 年より 1 年短くなっているのが特

徴であり、これもブミプトラ政策の一つである。

しかし、2003年より大学の入学システムがブミプトラの一環である割当(Quota)制から成績重視主義(Meritocracy)と大きく転換した。この件については後述する。

国内の大学に進学せずに学業を続ける方法は、私立カレッジや教員養成用カレッジ、あるいはポリテクニクなどに進学することがある。カレッジは日本の専門学校に相当する。さらに、裕福な子女の場合 SPM 試験の合格者に対して門戸を開いている国外の大学に留学する場合もある。

#### 4 就学率・通学率・第5学年在学率

アセアンの6カ国に中国、韓国を加え計8カ国の就学率をマレーシアと対比して表2-1-2で見よう。初等教

育総就学率ではマレーシアでは男95%、女96%である。ベトナム、インドネシア、中国、ラオスの4カ国は100%

を越えており、本来卒業しているべき年齢の生徒が在学している事を示している。

初等教育純就学率ではマレーシアは総就学率と同じで男95%、女96%であり就学年齢外の生徒はいない。率では中国、韓国に次いで3位である。純通学率は純就学率より1~2%落ちるが高率であり、中国に次いでいる。

そして、第5学年在学率(初等学校の第1学年に入学した生徒が第5学年に在学する率)は99%で韓国と並んで1位である。中等教育総就学率も男94%、女95%で韓国に次ぐ2位である。他の国に比べると、男では16~72%、女では15~80%の差を付け大きく引き離している。

マレーシアの初等・中等教育は開発途上国型を卒業し先進国型に近づいている。今後は100%に近づける努力が必要である。

#### 5 まとめ

マレーシアの教育制度は国立系中等学校(5年)と私立中等学校(6年)の様に就学年数も違う。教育言語も選べ、様々な選択肢が市民に認められているといえよう。しかし一方で中華系私立中等学校の卒業生が国内の大学の4年制コースに進学しようとする、さらに2年間の大学予科教育を受けなければならない、さらに STPM 試験がマレー語で実施されるために大きな不利を被る。このため、中華系私立中等学校の卒業生で国内の国立大学に進学する生徒は殆どいないと言われている。しかし、大学進学の結果重視主義(Meritocracy)の採用や私立大学の増加により華人に取っても選択肢は拡大しつつある。

表2-1-1 マレーシアの教育制度

2005年10月25日修正No.9

(2004年5月17日作成)

宇都宮大学 大学院 国際学研究所  
国際社会専攻 岡本 義輝(MK040103)

高等教育	25	6	試験(現・旧)	大学院(修士)		*1年の大学もあり		①②共、理系/文系両コース有り 新学期開始:6月〜 <2003年のMeritcracy(成績重視主義)の導入以降> 入学者の選考、教育(①②共に)は各大学→政府に移った 入学者の人種別の割当(Quota)制が無くなり、ベスト7大学での華人比率は 50~60%と約2倍増している。 但し、①の90~95%は華人・インド人、②の90~95%はマレー人である。		私立大学		4
	24	5		大学(学部)					4	カレッジ等	MMU	3
	23	4		医・歯:4年					3	(1-4年制)	UNITEN	2
	22	3		工・法・理・文・経:3年					2		等	*
	21	2		(新学年開始:6月〜)					1			
中等教育	19	U6	終了(STPM・HSC)	①大学予科教育(1.5年)	②大学予備教育(1年)	3	ポリテクニク	<*L6・U6へ>		私立中等教育		6
	18	L6	試験:11月 発表:2月	<成績普通>	<優秀>Matriculation	2	カレッジ	1	SMT	1	<成績:優秀>	<成績:普通>
	17	5	終了(SPM・MCE)	上級中等学校(SMT)						後期		5
	16	4	試験:11月 発表:2月	(新学年開始:1月〜)						前期		4
	15	3	終了(PMR・LCE)	下級中等学校(SMR)						60校53,005人(2004年)		3
初等教育	14	2	試験:10月/初	(新学年開始:1月〜)								2
	13	1										1
	12	6	卒業(UPSR・無)	(進学にはSRJKと同様成績悪いと1年間のマレー語教育要)								
	11	5	9月に7科目の試験	国民小学校 (SRK)		国民型小学校 (SRJK(T))		(合格69%) UPSR試験のマレー語(2科目)がC以上の時 (A~C:合格,D~E:不合格)		国民型小学校 (SRJK(C))		
	10	4	①マレー語(2科目)	パハサ・マレー		タミル語				中国語		
9	3	②中国語(2科目)										
8	2	③英語④数学										
7	1	⑤理科									6965校2803千人(95年)	

<出所> 上の表:「南国新聞新年特集号NANGOKU SHINBUN」2003年1月2日(木),16ページ、大学予備教育、中華系:Ms.Kek (SEM),04.9.10、大学予備教育の修正:Prof.Dr.Syed (USM),2005.8.2、UPSR試験のマレー語合格率、独立中学の生徒数:Mr.Yap(マレーシア華人教師総会)、05.6.9.大学予科・予備教育の説明:Prof.Dr.Chuah(MMU)  
下の説明:1) Mr.Saiful(SEM),04.5.17~18、2) 3) Ms.Tay(SEM),2003.大学予備教育、中華系:Ms.Kek (SEM),04.9.10

<用語>

- 1) 試験  
\* STPM Sijil Tinggi Persekolahan Malaysia(大学入学資格試験)  
\* SPM Sijil Pelajaran Malaysia(全国統一試験と大学入学資格試験)  
\* PMR Penilaian Menengah Rendah(全国統一試験)  
\* UPSR Ujian Penilaian Sekolah Rendah(04年9月より上記で実施)

2) 中/高等学校

- \* SMK Sekolah Menengah Kebangsaan  
\* SMT Sekolah Menengah Tinggi  
\* SMR Sekolah Menengah Rendah  
\* SMJK(C) Sekolah Menengah Jenis Kebangsaan Cina(数少ない)

3) 小学校

- \* SR(旧) Sekolah Rendah  
\* SRK(新) Sekolah Rendah kebangsaan  
\* SRJK(T) Sekolah Rendah Jenis Kebangsaan Tamil  
\* SRJK(C) Sekolah Rendah Jenis Kebangsaan Cina

<ビジョン・スクール>

三つのタイプの小学校を同じ敷地内に作る。全国で10校位有り

- 英語  
Certificate Higher Schooling Malaysia  
Certificate Education Malaysia  
(上記2つは岡本の逐語訳)

- National Secondary /High School  
High School  
Junior High School  
National High School(Chinese Type)

- National School  
National Primary School  
National Primary School(Tamil Type)  
National Primary School(Chinese Type)

- 旧UK方式  
Higher Senior Cambridge(HSC)  
Malaysian Certificate of Education(MCE)  
Lower Certificate of Education (LCE)

- <独立系中華高校>(04.8.20.,MRI;Mr.Lim)  
1) 卒業試験:「統一試験」Unified Examination  
2) UEの受け入れ大学  
\* 以前:台湾のみ  
\* 現在:シンガポール、中国

- <中華高校卒業後SPMを受験する人>  
\* 1~2%  
<TAR>  
\* 国立に入れなかった人がTARIに入る